

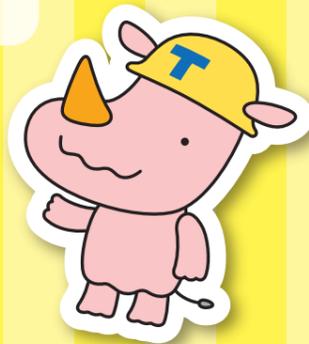
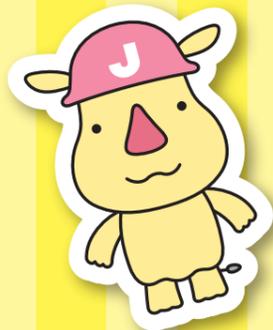


国土交通省 北陸地方整備局
 北陸技術事務所
<https://www.hrr.mlit.go.jp/hokugi/>

新潟防災センター（北陸技術事務所）
 〒950-1101 新潟県新潟市西区山田2310-5
 TEL (025) 231-1281

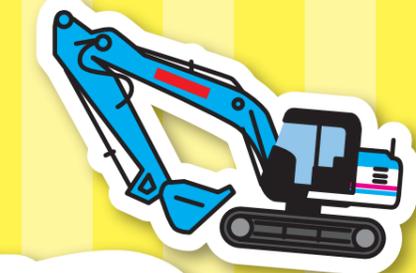
富山防災センター（北陸技術事務所富山出張所）
 〒939-3544 富山県富山市水橋入江334-4
 TEL (076) 478-5511

上越防災支援センター（高田河川国道事務所直江津国道維持出張所）
 〒943-0166 新潟県上越市大字寺字前新田615-1
 TEL (025) 525-7724

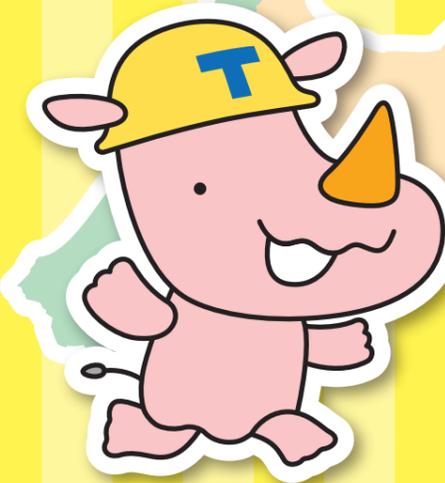
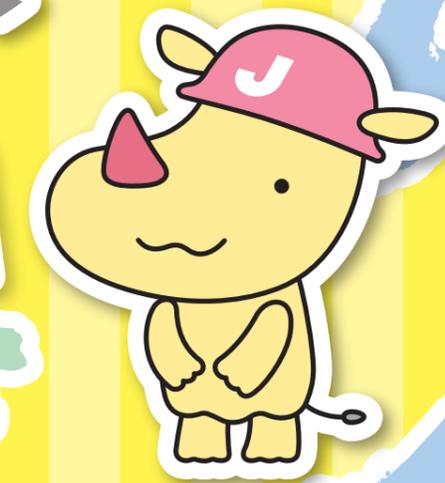


みんなの力を合わせよう!!

災害で役立つ 車や機械たち



J 上越防災支援センター
 マスコットキャラクター
 ジョーちゃん



T 富山防災センター
 マスコットキャラクター
 リッキー

N 新潟防災センター
 マスコットキャラクター
 ニッキー



HOKUGI 北陸技術事務所 ウェブサイト
<https://www.hrr.mlit.go.jp/hokugi/>

雪害・除雪記録映像アーカイブ
<https://www.hrr.mlit.go.jp/hokugi/movie/>

北陸技術事務所 YouTubeチャンネル
<https://www.youtube.com/user/HOKUGImlit>

おしえて! 雪ナビ
<https://www.hrr.mlit.go.jp/hokugi/yukinavi/>

自然災害が起こったら



災害が起こった時、被害を最小限に食い止めるために働く人達があります。どんな人が協力し合って、どのような活動をしているのか、見てみましょう。

国土交通省



被害の情報を集めたり、災害現場でさまざまな機械を使って被害が広がるのをおさえ、県・市町村への支援をします。

自衛隊



都道府県知事の要請を受けて災害現場に出動し、被害が広がるのを防ぎ、避難した人々を助けるなど、さまざまな活動を行います。

県・市町村



被害の状況など、さまざまな情報を集めて発表し、被害にあった地域の住民を安全な場所に避難させます。

警察



災害現場で被害にあった人々を救助し、被害にあった地域でパトロールをして、住民の安全を守ります。

消防



火事があった時は、消火活動を行います。災害現場では、被害にあった人々を救助し、けが人や具合が悪くなった人を病院へ運びます。

気象台



気象に関するデータを管理して、災害が起こりそうな時、注意報・警報や気象情報を発表し、人々に注意をよびかけます。

日本赤十字社



病院と協力して、災害現場でけが人や具合が悪くなった人を治療したり、食事を用意して被害にあった人々を助けます。

ライフライン事業者



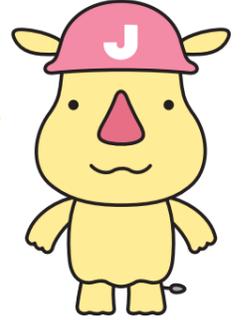
水道、電気、ガス、電話などが災害で使えなくなった時に直す作業をします。

ボランティア



さまざまな地域から人が集まって、被害にあった人々を助けます。

たくさんの機関が力を合わせて活動しているのね



3つの力で安全を守るんだね

自助

自助とは
自分自身の力、つまり自分の手で、自分や家族の安全を守ることです。

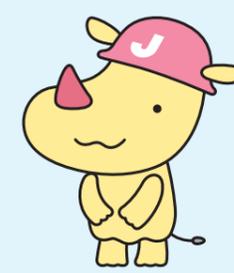
共助

共助とは
まわりの人と協力し助け合って、地域の安全を守ることです。

公助

公助とは
国土交通省を始め、警察・消防・県・市などが行う支援活動のことです。

自助 共助 公助 の3つの力で災害に強い町づくり、国づくりになるんだよ



非常持ち出し袋を用意しておくのも自助のひとつね

災害で役立つ車や機械たち

災害が起こった時、その場所や状況によって
作業の方法がちがいます。

どこでどんな災害が起こっても大丈夫のように、
さまざまな役割の車や機械があります。

ぼうさい
防災ヘリコプター

どしゃほうかい
土砂崩壊

えんかくそうじゅうたいおうがた
遠隔操縦対応型
バックホウ

えいせいつうしんかはんきよくそうち
衛星通信可搬局装置(Ku-SAT II)
こうかんど
高感度カメラ

たいさくほんぶしや
対策本部車

えいせいつうしんしや
衛星通信車

たいきしえんしや
待機支援車
せんけんよう
(先遣用)

たいきしえんしや
待機支援車
しえんようがた
(支援用バス型)

こうかんど
高感度
カメラ

はいすい
排水ポンプ車

らっきょう
落橋

おうきゅうくみたてきよう
応急組立橋

パトロールカー

しょうめいしや
照明車

こうずい
洪水

つうしんえいせい
通信衛星

こくごこうつうしょう
国土交通省

ひかり
光ケーブル

けんしちようそん
県・市町村

さまざまな災害対策機械

QRコードから動画が見られます

※QRコードはデンソーウェブの登録商標です。



災害対策本部車



災害が起こった場所の近くに行き、さまざまな会議をするための車です。
災害現場の様子を見たり、情報を集めてみんなで話し合いをします。



排水ポンプ車



川からあふれてしまった水をくみあげて、町を洪水から守るための車です。
水をくみあげるポンプや、電気を作る発電機、水を送るホースを積んでいます。

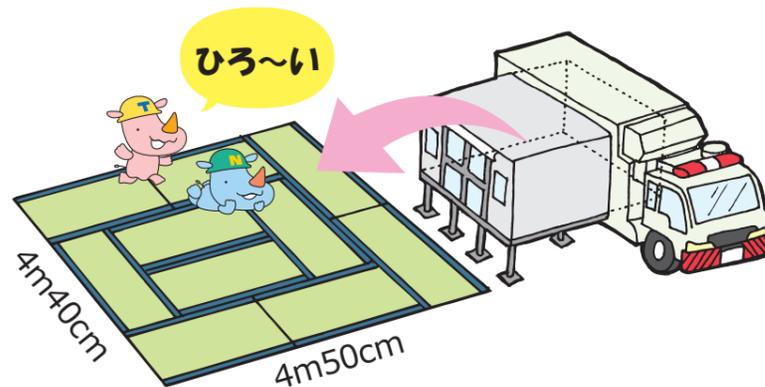


住宅地にあふれた水をくみあげ、被害を少なくすることができます。

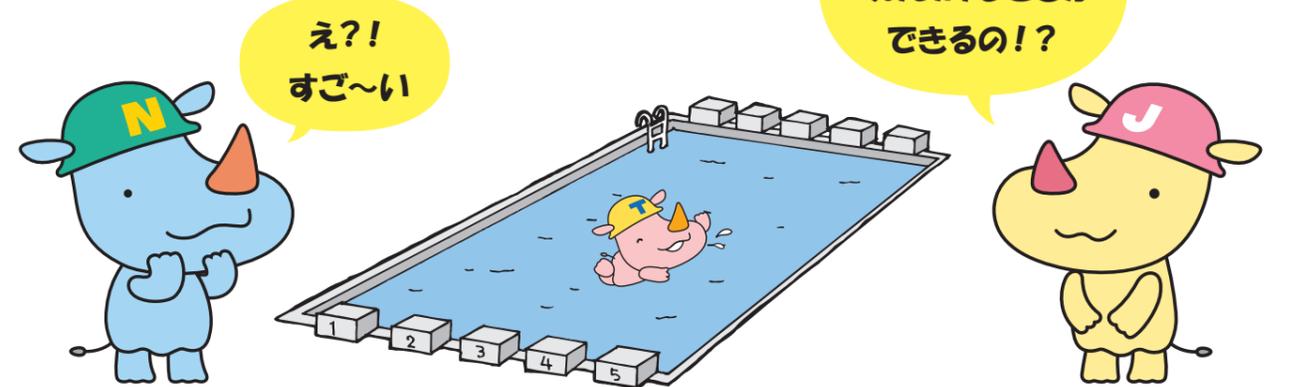


電話、パソコン、テレビなどが付いていて、電気の無い場所でも色々な情報を集めることができます。

車体を広げると畳約10枚分の広さ



学校の25mプールを5分でくみあげる



しょうめいしゃ

照明車

夜でも安全に作業することができますように、明るく照らすための車です。



！ライト1つで蛍光灯 50 本分

ライトは、地面から10m～20mの高さまで上げることができて、300mはなれた場所でも本が読める明るさです。



ブーム式



二柱式

衛星通信車



衛星を利用して、災害現場の映像を送ることができる車です。

ドローンや走行しながら撮影した映像、メールなど遠く離れた場所に災害の状況を送ることができます。



衛星通信車



カーサット Car-SAT

えんかくそうじゅうたいおうがた

遠隔操縦対応型バックホウ



人が乗らなくてもラジコンで遠くから操縦できる機械です。

遠くはなれた場所からでも、安全に作業することができます。



！150mはなれた場所から操縦

機械にカメラが付いているので、モニター画面を見ながら操縦することができます。



防災ヘリコプター

災害が起こった時に、空から現場のようすを観察したり、カメラで撮影した映像を送ったりすることができます。



防災ヘリコプター(ほくりく号)は新潟空港に置いてあります。

！新潟空港からかかる時間



最高速度は時速242kmで、遠いところでもすぐに到着できます。

たい き し えん しゃ
待機支援車

さい がい げん ば はたら ひと きゆう かい ぎ くるま
災害現場で働く人たちが休けいしたり、会議をするための車です。



しょうしき
9床式



し えん よう がた
支援用バス型



なか
中にはベッド、
テレビ、電子レンジ
などが付いて
いるよ



おう きゆう くみ たて きょう
応急組立橋

さい がい はし とき はし なお あいだ ひと くるま かわ わた
災害で橋がこわれた時に、橋が直るまでの間、人や車が川を渡れるようにします。



つか はし く た
クレーンを使って橋を組み立てます。



きょう りょう てん けん しゃ
橋梁点検車

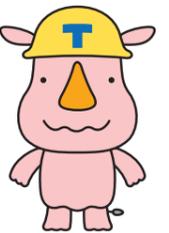


さい がい お とき はし あん ぜん かく にん き かい
災害が起こった時に、橋が安全かどうかを確認するための機械です。
ひと かん たん かく にん たか おお はし てん けん ほ しゅう さぎょう
人が簡単に確認できない高い大きな橋の点検や補修作業ができます。



ふ だん はし あん ぜん
普段から、橋が安全
つか
に使えるようにするた
め、点検にも使われ
ています。

はし あん ぜん
橋の安全は
み
そとから見ただけでは
わからないんだね



じょ せつ しゃ
除雪車

どう ろ つ ゆき と のぞ き かい
道路に積もった雪を取り除くための機械です。



じょせつ
除雪グレーダ



じょせつ
除雪トラック



かんが 考えてみよう

あなたが興味を持った車や機械はどれですか？



災害現場で活躍する車や機械たちは、それぞれに大事な役割があります。
印象に残った車や機械はどれですか？ その名前・役割と理由を書きましょう。

名前・役割

理由

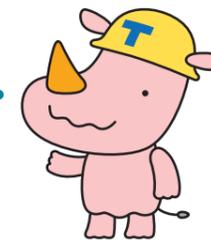
あったらいいなと思う車や機械は？



こういう時に役立つ、こんな車や機械があればいいのに…。あったらいいなと思う未来の車や機械を自分で考えて、自由に書いてみましょう。

どんな車や機械？

車や機械はいつもどこにあるのかな？



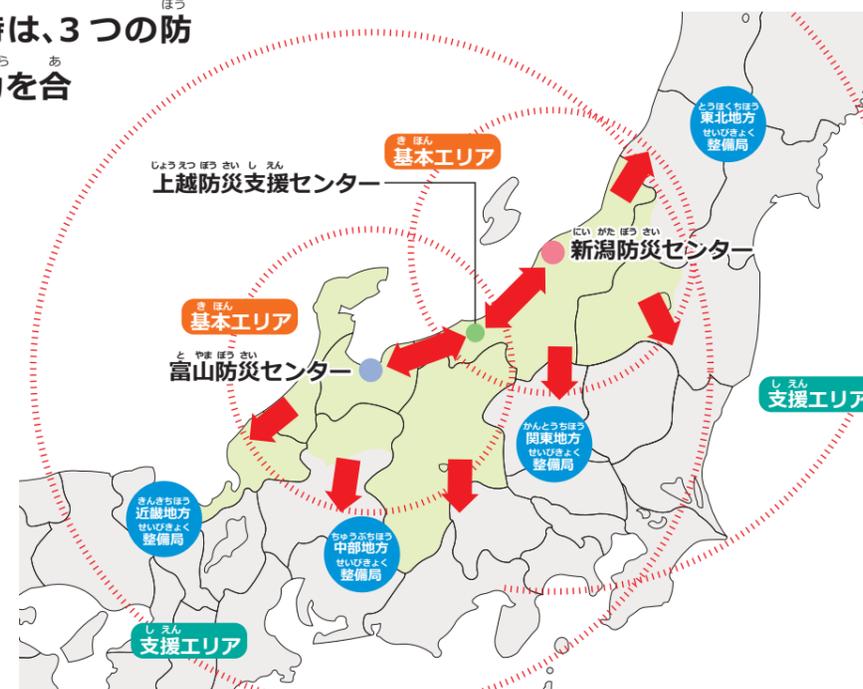
防災センターで出動に備えています

地震や水害、雪害などの自然災害が起こった時、人の命や生活に必要なものを守るために、防災センターが中心となって、災害活動を行います。北陸地方には、新潟防災センター、上越防災支援センター、富山防災センターの3つがあって、それぞれのセンターに災害対策用機械が置いてあります。



安全と安心のために力を合わせて活動しています

私たちの住む北陸地方は細長いので、大きな災害が起こった時は、3つの防災センターが助け合い、力を合わせて災害活動を行います。また、日本中どこへでも支援に行きます。



防災センターを
見てみよう！



突然の災害に備える(防災センター)



新潟防災センター

〒950-1101
新潟県新潟市西区山田 2310-5

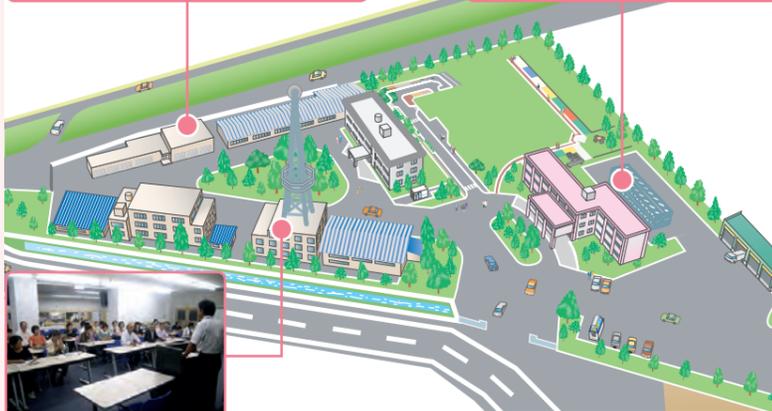
面積 約20,000㎡



さいがいたいさくよう きがいかくのうこ
災害対策用機械格納庫



おうきゅうくみたてきよう
応急組立橋



さいがいたいさくしつ
災害対策室



主な災害対策用機械

- 対策本部車
- 衛星通信車
- 排水ポンプ車
- 照明車
- 待機支援車
- 橋梁点検車
- 散水車
- 分解組立・遠隔操縦対応型バックホウ
- 応急組立橋
- 衛星通信可搬局装置 (Ku-SAT II)
- 移動型衛星通信設備 (Car-SAT)



富山防災センター

〒939-3544
富山県富山市水橋入江 334-4

面積 約52,000㎡



ひちくしさい
備蓄資材



しさいかくのうこ
資材格納庫



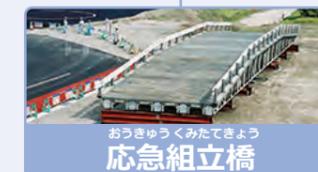
さいがいたいさくとう
災害対策棟



ヘリポート



さいがいたいさくよう きがいかくのうこ
災害対策用機械格納庫



おうきゅうくみたてきよう
応急組立橋



主な災害対策用機械

- 対策本部車
- 衛星通信車
- 排水ポンプ車
- 照明車
- 待機支援車
- 橋梁点検車
- 散水車
- 遠隔操縦対応型バックホウ
- 応急組立橋
- 衛星通信可搬局装置 (Ku-SAT II)



上越防災支援センター

〒943-0166
新潟県上越市大字寺字前新田 615-1

面積 約5,000㎡



えんかくそうじゆうたいおうがた
遠隔操縦対応型バックホウ



おうきゅうくみたてきよう
応急組立橋



さいがいたいさくよう きがいかくのうこ
災害対策用機械格納庫



はいすい しゃくんれんよう
排水ポンプ車訓練用プール

主な災害対策用機械

- 対策本部車
- 衛星通信車
- 排水ポンプ車
- 照明車
- 待機支援車
- 遠隔操縦対応型バックホウ
- 応急組立橋
- 衛星通信可搬局装置 (Ku-SAT II)



もしもの時のために【家族で話し合おう】



！ 地震に備えて

家の中に危険なところは？

地震の時は、家の中でも危険なことが起こる場合があります。もしもの時を想像しながら、家族で話し合ってみましょう。

チェック

- 家具や電気製品は固定されていますか？
- 家具の上に水そうや花瓶を置いていませんか？
- 玄関や廊下に荷物が置いてありませんか？
- その他気づいたこと

それぞれの役割を決めましょう

地震が起こると慌ててしまい、いつもならできることができなくなってしまうことがあります。

いざという時に、自分の役割が決まっていると、冷静に行動することができます。

- お父さん
-
- お母さん
-
- 自分
-
- 自分の役割

あなたの避難場所は？

家族で集まる場所を決めておきましょう。

- 集まる場所

家族との連絡のとりかた

大きな災害が起こると、電話がつながりにくくなります。もしも家族とはぐれたら、次のような方法で連絡をとりましょう。

● 災害用伝言ダイヤルを利用しましょう

メッセーを録音

171 + 1

自分の家の電話番号(市外局番から)

メッセーを再生

171 + 2

自分の家の電話番号(市外局番から)

※携帯電話からも利用できます。

● 公衆電話

公衆電話は災害が起こると「災害時優先電話」という扱いになり、通話が優先されるのでつながりやすくなります。

● はり紙

自分のいる場所などを知らせるのに、はり紙は便利です。雨で消えないように、油性のマジックを使いましょう。

！ 水害に備えて

家のまわりに危険なところは？

家の近くに、流れている川は今までに洪水を起こしたことはありませんか？ 道路わきのがけなど、いつもはなんとも思わずに通っている道が、大雨により危険な場所になることがあります。

新潟県・富山県・石川県の情報は【ハザードマップポータルサイト】
<https://disaportal.gsi.go.jp/>



避難する時の注意

大雨の中を避難する場合は、とくに注意が必要です。前が見えにくかったり、足もとが悪かったりするので、家族や近所の人たちと協力して避難することが大切です。

● 最新の天気予報をチェックしましょう。警報の中で「1時間に50mm以上の雨がふる」や「過去数年間でもっとも土砂災害の危険が高い」という表現があれば、とくに気をつける必要があります。

チェック

- 近くを流れている川の名前
-
- 自分の家は何色の区域

● 「洪水ハザードマップ」と「浸水想定区域図」を利用して、危険な場所をチェックしておきましょう。
 ※洪水ハザードマップ: 浸水情報や避難情報などの各種情報を分かりやすく表示した図面です。
 ※浸水想定区域図: 洪水で河川が氾濫した場合、浸水区域を浸水の深さごとに色分けして地図上に表示した図面です。

- 自分のできること

備えておきたいもの

避難しなければならない時に持って行く「非常持ち出し袋」を用意していますか。せつかく用意してあっても賞味期限の切れた食品や、電池の切れたラジオでは役に立ちません。ときどき調べて、こまめに交換しておきましょう。

● 右のチェック表の空欄には、他に持ち出したいものを書きましょう。

非常持ち出し品チェック表	
<input type="checkbox"/> 懐中電灯	<input type="checkbox"/> 予備の電池
<input type="checkbox"/> 携帯ラジオ	<input type="checkbox"/> 小銭
<input type="checkbox"/> 非常食	<input type="checkbox"/> はり紙
<input type="checkbox"/> 水	<input type="checkbox"/> 油性マジック
<input type="checkbox"/> タオル	<input type="checkbox"/> 連絡先リスト
<input type="checkbox"/> 着がえ	<input type="checkbox"/> ビニールシート
<input type="checkbox"/> マスク	
<input type="checkbox"/> 軍手	
<input type="checkbox"/> 救急箱	